



～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 29

令和4年 5月12日発行

袋井市幼児教育センター



袋井の幼児教育で育成する力

生活習慣	自分のことは自分でできる	151 自立心
	生活習慣	(2) 道徳性・規範意識の芽生え 153 健康な心と体 154 社会生活との関わり
学びに向かう力	みんなと頑張れる	156 自然との関わり・生命尊重
	学ばせよう	159 言葉による伝え合い
	学びに向かう力	171 協同性
基礎となる現力の	考える・やる	180 思考力の芽生え
	基礎となる現力の	181 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 182 豊かな感性と表現

いっぱい遊んだ後はおいしく食べます



食事の前は、しっかり手洗い



初めての給食 慣れるために少量から

楽しい雰囲気の中でみんなと一緒に食事をする、おいしさや食べる喜びを感じるようになります。また、周りの姿に刺激を受けながら苦手な食べものにも挑戦する気持ちをもつことができます。

色々な食材を食べると体が元気になり力が湧きます。走ったり、跳んだりするなど、自然に体を動かして遊ぶようになり、体も心も健康になります。

☆小学校生活では、

食生活の充実、走ることや鉄棒などの運動遊びを積極的に取り組むようになり、体の発育を促します。体力もつき運動能力の向上にもつながります。また、食事前の丁寧な手洗いやうがいは、健康で安全な生活につながることを意識します。

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。

袋井市教育委員会幼児教育センター86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

